



## 【主な活動内容】

### 〈家庭教育相談〉

家庭教育・子育てについて、家庭教育相談部会のメンバー（元教員など）が保護者からの相談を受け、専門家としてアドバイスを行っています。呉市と連携して10月と2月に実施しています。（5日間×2回）

### 〈あつまってクレ〉

子供の学習支援事業として、社会福祉協議会と呉市生活支援課からの委託により実施しています。

毎週1.5～2時間、高校生・大学生・元教員のボランティアによるマンツーマンの学習支援や、看護学部学生による生活指導などの機会を提供しています。体験活動も年2回実施しています。

子供たちの居場所づくり、人間関係づくりの場となっています。

### 〈新井戸端会議〉

幼稚園・保育所で保護者・施設関係者・教育会のメンバーで幼児教育・子育てについて話し合い、保護者同士の悩みを共有し、専門家としてアドバイスも行っています。

### 〈ふるさと呉・昔話シリーズの執筆、編集〉

地域の文化を大切にし、子供たちに伝えることを目的に、呉市の各地域にまつわる昔話を「ふるさと呉・昔話シリーズ」として執筆、編集しています。



↑あつまってクレの学習支援



↑新井戸端会議での意見交流



↑あつまってクレの体験活動



←家庭教育相談に向けた研修、  
打ち合わせ

ふるさと呉・→  
昔話シリーズ



この他にも、小学生童話大会などへの支援、会員の研修会、広報事業など、様々な活動を通じて、呉市の教育を支援しています。

## 【活動の成果】

長い間積み重ねてきた相談方法や支援方法で、呉市の子育て世代が安心して子育てをできるようなまちづくりができています。

## 【今後の展望】

今後も未来を生きる子供たちの幸せを願い、学校教育、家庭教育、社会教育を様々な形で支援していきます。





## アピールポイント！！（特色のある取組）

【子育て交流会】毎年市内小学校（11校）で実施される就学時健康診断時に、保護者に対し早寝早起き朝ごはんや睡眠の大切さなどを中心とした生活習慣・スマホ育児の注意点・子どもの正しい靴選び等について講話を行っている。その後、保護者・PTA・支援チームが一緒になり、ワークショップで不安や悩み、心配ごとなどを話し合い、先輩からのアドバイスを交えながら、入学後も相談できる関係づくりを行っている。そして、その時の意見や感想等をまとめて各学校に届け、学校との情報共有を図っている。

交流会に参加した保護者からは、「悩みや不安が軽くなった。近所に同級生がいることが分かった。入学してもこのような集まりを行ってほしい。」などの声があった。

学校からは、「参加される皆さんが交流して仲良くなることを第一に実施してほしい。」という要望がある。



## その他の活動内容

【子育てひろば】中高生が乳幼児親子と触れ合うことで、家族や子どもを持つことの大切さを身近に感じる機会になり、生徒はもちろんだが、先生も生徒の普段学校では見られない表情を見ることができ、良いコミュニケーションの場となっている。

また、高校では家庭科の授業で企画段階から連携し、プログラムや運営も生徒のアイディアを取り入れながら行った。ひろば当日には、保護者とのフリートークタイムや生徒手作りの人形劇や遊びコーナーも実施した。



【ケータイ安心安全講習会】子どもをネット被害から守る目的で行っているため、共感する人も多く、学校や地域団体を対象とした研修としても広がっている。

## 成果と今後の展望

【成果】生活習慣学習については正しい情報を分かりやすく提供することにより各家庭での実践に役立てられている。気軽な相談から、誰にも言い出せない重い悩み相談まで、一番身近な相談員として対応できている。また、課題の解決に向けては、支援チーム内での定例会で対応策を協議することにより、的確な判断に基づいて行うことができている。

【今後の展望】「ふぁみ」の想いや目的を共有できる仲間を増やすとともに子育て中の皆さんに寄り添い、身近な相談相手でありたい。

# 丸亀市家庭教育支援チーム きっずコム

## ～目指す社会像～

- ♡子どもを産み育てることに  
幸せを抱ける社会に！
- ♡みんなで支え合い、  
育ち合える共生社会に！
- ♡Only Oneを認め合い、  
誰もが活躍できる社会に！
- ♡子どもが子どもとして  
大きな夢を持ち夢に向かえる社会に！



## 活動の目的・趣旨

1983年に「丸亀子ども劇場」として発足し、“すべての子ども達にたくましく豊かな創造性を！”をスローガンに22年間活動。その軌跡を大事にしながら、2005年9月、NPO法人さめきっずコムシアターとしてスタート。2012年には活動の拠点を大きな古民家に移し、子育てや家庭教育支援などの活動や、子どもからおとなが交流を深められる居場所づくりを展開し、地域みんなで助け合い、育ち合う社会づくりを目指して、日々活動しています。また、子どもの育ちを切れ目なく応援し、誰もが主役となれる場を創りたいと考え、様々な新しい活動にもチャレンジしています。

## チーム・活動の体制

- ◇活動開始年月  
1983年度「丸亀子ども劇場」として発足  
2005年 法人設立「NPO法人さめきっずコムシアター」スタート！  
2020年 認定NPO法人に認定
- ◇活動拠点・範囲：香川県丸亀市：人口 109,429人（2021年11月1日現在）
- ◇チームのメンバー：30人  
うち役員8人・スタッフ22人（うち元教員1名、保育士・幼稚園教諭9名、子育て支援員6名、保育サポーター3名）
- ◇連携機関等：行政（福祉・教育・文化） ・ 社会福祉協議会 ・ 企業 ・ NPO団体



## 活動形態

- 保護者等への学びの場の提供
- 地域の居場所づくり
- アウトリーチ型家庭教育支援
- その他（保護者への情報提供、相談対応等）

## 活動の対象：丸亀市全域および近隣地域 ～妊娠期を含め、乳児から高齢者まで～

- 妊婦とその家族
- 乳幼児期
- 小学生
- 中学生
- 高校生以上
- の子供を持つ保護者・家庭
- その他（高齢者）

## 活動場所

- 幼稚園
- 保育所
- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 社会教育施設
- 福祉施設
- 保健センター等
- 企業
- 家庭（訪問等）
- オンライン
- その他（団体施設）



## 主な活動内容

さぬきっずコムシアターのHPはこちら  
<https://sanukids.org>



Zoomなどのオンラインも活用しています♪

### 子ども体験事業

#### ■舞台芸術鑑賞体験

様々なジャンルのア口による優れたステージを企画実施し、鑑賞します。文化芸術体験が心を豊かにし、人間の可能性を創造します。子どもからおとなまで楽しめます。



#### ■ワークショップ体験

五感をフルに使う体験の場で、遊びの中から身体で感じ取り「生きる力」を育みます。なかでも忍者修行は、とても人気の高い恒例の企画です。



#### ■子どもバンド活動

幼児～小学生メンバーのバンドで、月1回程度のレッスン活動と演奏活動を行います。  
 (イベント発表・高齢者施設訪問など)



### 地域子育て支援拠点事業 (丸亀市委託)

#### 乳幼児親子が自由に集える子育てひろばを開設

##### ■乳幼児親子のひろば

- ・コムコムひろば・どき
- ・コムコムひろば・あやうた
- ・出張ひろば・コムコム城坤
- ・出張ひろば・コムコム城南



##### 参加者の声

コムコムがあったから、子育てをがんばれています。悩みを聞いてもらえたり情報が知れたり心の拠り所になっています。

<http://com-com.main.jp>

##### ■サークル活動

コムコムひろばの利用者パパやママから生まれたサークル活動です。



- ・ママの演奏グループ「空色のメロディ」
- ・パパサークル「とっとコム」
- ・多胎児サークル「コムチェリーズ」

### 放課後子供教室 (丸亀市委託)

#### ■放課後子供教室 どんきん☆くらぶ

小学生を対象に「学び・遊び・体験・ふれあい」ができる「子どもの居場所」として開室



#### 出張事業

イベント時の一時預かり、造形教室講師請負舞台公演のマネジメントをしています。

- 託児者出張
- 講師出張

### コミュニケーション事業

異年齢や同年代で共に学び共に育ち合うふれあいの居場所です。

- 中高生 (テラ☆ティーンズ)
- シルバーの居場所 (エンジョイコムライフ)
- 幼児親子 (じゃんぶくらぶ)
- 子育てママ (ママねっと)
- 親子で (親子ねっと)
- 婚活応援『DE♡あい』



### きっずスクール事業

#### ■きっずコム 子どもアトリエ

子どもたち一人ひとりの個性を大切に豊かな感性と表現力を育みます。



#### 広報事業

- 機関紙「きっずコムレター」「NEWS」発行
- HP さぬきっずコムシアター
- 各種 SNS を活用した情報発信 きっずコムのFB/インスタ



### 子育て支援コーディネーター事業「トゥインクル」

子育て家庭の身近な場所で子育ての困ったこと、聞いてみたいことの相談を個別に対応しています。



### みんなの居場所事業

- 地域の食卓「コムカフェランチ」
- シルバー世代の「チャレンジサロン」
- 誰もが集う「コミュニティサロン」
- 障がいのある方の「ハートフルサロン」



### 未来を担う命の絆プロジェクト

中学校に出向き、中学生に対し、助産師さんによる「命の講座」と「あかちゃんふれあい教室」を実施。おとな対象に子どもとの関わり方の子育て講座も実施しています。



### 成果と今後の展望

子どもを中心にした多岐にわたる活動を行うことで、子どもたちが様々な経験を重ねることができ、創造性や感性が育まれています。活動の中で、異年齢の子ども同士が関わり、お互いに助け合ったり、教え合ったりできる仲間づくりができており、その体験活動は、社会の中の多様な人の手で成され、子どものみならず親や関わる地域の大人の交流にも繋がっており、共助の関係性が育まれています。活動の受益者がやがて支援者として活動を繋いでいき、構築された活動の場は、子育ての学びの場、世代を超えた交流の場でもあり、人々の心の居場所でもあります。子育て講座の実施においては、多くの親の学びの場となっており、継続的な要望を受けていますので今後も続けていきます。現在コロナ禍において活動の制限もできております。孤立しがちなこのような状況だからこそ、子育て家庭のつながりを大切にしていかなければと、改めて地域力を高める必要性を感じています。

(認定 NPO 法人さぬきっずコムシアター)



# 宇和島市家庭教育支援チーム

## 「地域家庭教育支援活動」

### ♪宇和島市家庭教育支援チームを紹介します♪

当チームは平成20年度に結成され、参加者の意見・要望を反映させながら、市全体で家庭教育を支えるための活動を行っています。

公民館を拠点として開催する「子育て学習会」や、保護者と地域住民が気軽に集い、子育ての悩みや情報交換が自由にできる「子育て座談会（ほのぼ～のカフェ）」等を実施し、保護者に寄り添いながら、緩やかに温かな地域ぐるみの家庭教育支援を目指しています。

**活動開始年月** 2008年4月 **活動拠点** 愛媛県宇和島市

**活動範囲** 市内全域（人口約71,500人）

**チームのメンバー** 17人

（子育てサポーター・リーダー2名 民生委員・児童委員1名 元教職員4名 管理栄養士2名 心理士・スクールカウンセラー1名 その他7名）

### 活動形態

- 保護者への学びの場の提供
- 訪問型家庭教育支援
- 地域の居場所づくり
- その他（子育ての悩み相談）

### 活動の対象

- 妊婦とその家族
- 中学生
- その他
- 乳幼児期
- 高校生以上の子どもを持つ保護者
- 小学生

### 活動場所

- 幼稚園
- 社会教育施設
- 企業
- 保育所
- 福祉施設
- 家庭（訪問等）
- 小学校
- オンライン
- 中学校
- 保健センター等
- 高等学校
- その他



～ALL宇和島で子育て支援～

## 🌸 子育て学習会

### 大きくな～あれ うわじまっこ♪

学習会のテーマは、『親子のふれあい体操～ミュージック・ケア～』『食育講座』『親子でうどんづくり』『本に親しもう～読み聞かせ・本の紹介～』など複数あり、テーマに応じて、親子での体験学習や、保護者に向けた講話形式があります。

親子での体験活動では、活動の合間に時折見せる我が子の成長に驚いたり、新たな『気づき』を発見できたりしたという声が多く寄せられています。

講演会では、食育や自尊感情の育て方等、子育てに必要なことを、講師陣の専門的な知識や経験等を活かして、参加者が理解しやすい学習会を展開しています。



【親子のふれあい体操】



【食育講座】

## 🌸 子育て座談会『ほのぼーのカフェ』☕

子育て座談会では、子育て家庭はもちろんのこと、地域住民の参加を広く呼び掛けています。アットホームな雰囲気の中で、子育ての悩みや実体験での失敗談、その解決策などについて自由に意見交換が行われ、地域全体で子どものことについて話し合います。託児所を設けたり、夜間に開催したりするなど、子育て世代が参加しやすいように工夫しています。

## 🌸 広報紙『てとてと手』の発行

年3回発行：チーム員が定期的に学校等を訪問して事業の周知を行っています。



## 成果と今後の展望

### 【成果】

「子育て学習会」では、子どもたちの成長を感じながら、大人も子どもも楽しく学習することができました。また、保護者に向けた講話形式の学習会では、保護者の新たな学びにつなげることができました。

「子育て座談会」では、子育て家庭だけでなく、地域住民にも参加を呼びかけることで、様々な方が座談会に参加していただいております。地域ぐるみで子どもと保護者を見守るという安心感が生まれています。

### 【今後の展望】

現在の活動の充実させるとともに、その中でも特に、学習会等に参加していない保護者をターゲットにした相談活動について、学校や様々な団体等と連携を図りながら進めていきたいと考えています。これからも引き続き宇和島市全体で子どもを育てる環境づくりを目指します。





推薦都道府県：佐賀県

# NPO法人唐津市子育て支援情報センター



安心して子育てできる  
やさしい街づくりを目指して  
お互いに助け合い支えある関係  
づくりを育てています。  
心にゆとりとやさしさを持って  
社会全体で子育てできる環境づ  
くりを行っています。



活動の対象  
子育てに関わるすべての人々

## 活動内容

- ・子育て支援部門
- ☆利用者支援事業「おひさま」
- ☆地域子育て支援拠点事業「ゆっくりん」
- ☆サテライト事業
- ☆中学校子育てサロン事業
- ☆産後ママリフレッシュタイム
- ☆主催講座  
(食育講座・リフレッシュ講座)

活動開始  
平成16年6月

活動拠点  
☆唐津市(約11万人)  
☆玄海町(約5,000人)

連絡機関  
幼保園、小・中・高校  
医療機関、行政、公民館  
地域団体、企業等



チームメンバー  
130人

(看護師・保健師・助産師・  
教員免許・養護免許・保育士・  
幼稚園教諭・栄養士・民生・児童  
委員・母子保健推進員・佐賀県  
子育て支援員・佐賀県家庭教  
育リーダー養成講座修了者・支  
援活動経験者等)

## その他

- ・子育て緊急サポート部門 ☆ファミリー・サポートセンター「ラビットくん」
- ・病後児保育部門 ☆病後児保育「しろくまくん」
- ・唐ワンくん部門 ☆唐ワンくん事業



# ☀️ 中学校子育てサロン ☀️

2021年より中学校の中での  
子育てサロンを開始  
地域と中学生、乳幼児親子の  
交流の場を作っている



## 開催校

### 【中学校】

唐津市市立中学校 19校  
県立中学校 1校  
私立中学校 1校  
玄海町町立中学校 1校

### 【高等学校】

佐賀県立高等学校 2校

## 2019年度参加者

中学生...1,369名  
親子...1,220名  
地域の方...663名

## つながり

中学校、高校、幼保子ども園、行政、保健センター  
公民館などと連携をとり、PTA・民生児童委員・  
主任児童員・母子保健推進員・保健師も参加している。  
学校・子育て中の親子・地域がつながって  
サロンを作っている。



## 参加者の声

### 中学生

「赤ちゃんってあったかい」  
「自分や家族を大切にしていきたい」

### 乳幼児親子

「中学生へのイメージがわかり  
不安がなくなりました」

### 地域

「中学生が地域であいさつしてくれるようになった」

1校からスタートした  
中学校子育てサロン  
地域全体で育ていただき  
唐津市、玄海町の全中学校で  
開催できるようになりました。  
これからも多方面と協力して  
進化していきたいと  
思っています。





## 由布市はさま家庭教育支援チーム

【～地域ぐるみの子育ての実現に向けて～】

はさま未来クラブ



### ほっこりカフェ 対象 小中学生の保護者

▶開催 毎月1回土曜日

保護者対象のゆっくり話せる空間の提供。

### はさま地域放課後子ども教室「学楽多塾」<sup>がらくたじゅく</sup> 対象 小中学生とその保護者

▶開講 毎週 水・金・土曜日 ・ 夏休みなどの長期休業中

挾間の郷土料理や豆知識を地域の様々な方が講師となり教えている。押し花やまんが、実験等、多種多様な講座がある。学校内や公民館で教室を実施し、保護者を巻き込んだ子どもの居場所づくりになっている。

### 子育て支援拠点事業 対象 未就学児の保護者家族

#### 一時預かり事業

//

▶開設 毎週 月～金曜日

身近なところで、気軽に親子の交流ができる「屋根のある公園」として場所を提供。

保育士・社会福祉士・発達支援などのエキスパートが常駐し、相談業務も充実させている。

## チーム・活動の体制

◇活動開始年月：平成22年（西暦2010年）4月

◇活動拠点：大分県由布市

◇活動範囲：由布市挾間町、挾間中学校区

（人口約33,820人 うち挾間地域 17,149人）※R3.11月末現在

◇チームのメンバー：18人

（地域人材活用指導員 1名、家庭教育支援員 2名、保育士 5名、

社会福祉士 1名、保健師 1名、幼稚園教諭 1名、

地域子育て支援士二種 2名、地域子育て支援士 2名、子育てサポーター 3名）※R3.11月末現在

◇連携機関等：挾間公民館・社会教育課・挾間中学校区小中学校

子育て支援課・健康増進課



## 活動の対象

■ 妊婦とその家族

■ 乳幼児期

■ 小学生

■ 中学生

□ 高校生以上

の子供を持つ保護者・家庭

□ その他（ ）

## 活動場所

■ 幼稚園

□ 保育所

■ 小学校

■ 中学校

□ 高等学校

■ 社会教育施設

■ 福祉施設

□ 保健センター等

□ 企業

□ 家庭（訪問等）

□ オンライン

□ その他（ ）



## 未就学から小中学生まで、切れ目のない支援の実施

### 保護者の困り

- ・身近に家族（親族）や援助を頼める人がいない
- ・子育ての相談をできる人がいない
- ・なかなか自分の時間がとれない

### 未就学児から、小中学生の保護者の集える場所を開設

### 保護者の困りに寄り添い

### 利用者同士のピアサポートや専門家による支援

- ・子育て関連情報の提供
- ・子育て中の親子へ交流の場の提供、交流の促進
- ・子育てに関する相談、援助
- ・子育て支援に関する講習  
発達支援のリトミックやスキンシップ  
子どもと一緒に学べる教室も実施



親子クッキングの様子

#### 親子クッキング参加の保護者の感想

子どもと一緒に食事を作ることで、親子の会話も増えました。アットホームな雰囲気、のびのびと活動する姿を見ながら、他のお母さんたちと子どもの成長を共有でき嬉しかったです。

## より良い支援へ繋げるために

情報共有やよりよい指導方針の検討を行い、指導者のスキルアップを目指す。



### 職員の情報共有

毎朝のミーティングや月会議では、支援継続中の親子の様子や相談内容を共有し、誰が担当しても同じ声かけや対応が出来るよう、指導や方針の検討を重ねている。また保健センター等関係機関とも月に1、2度のペースで共有会議を設けている。

### 事例検討会

より良い支援につなげる為に、重点的に支援が必要であると思われる親子や経過を見ている事例をあげ研修を実施。スタッフの共通理解のもと、支援にあたっている。

### スタッフの資質向上へ 各種研修会への参加

大分県主催の子育て支援研修・発達障がいなど専門性の高い研修にも積極的に参加している。

↑ 研修会

← 一時預かり



#### 相談・一時預かり利用者の感想

転勤で挟間に引っ越してきました。周りに知り合いもなく、すがる思いで相談に行ったこと。一時預かりを利用後に、娘の笑顔を見てホッとしたこと。今でも鮮明に覚えています。そんな場所が近くにあった良かった。感謝しています。

## 成果と今後の展望

平成17年10月に3町が合併し由布市が誕生、当時の人口は約36,000人であった。令和3年11月末現在では約33,820人となり、人口減少率9.1%であるが、平成30年度より高校生まで医療費無償化を市の施策として打ち出して以来、由布市挾間町においては近隣の市より転入者も増え人口増加率10%となっている。それに加え、発達障がいを抱える子どもの受入れも多く、家族だけで支える家庭教育にも限界があることから、地域の子育て支援の充実が急務である。核家族化が一層進む今後は福祉・教育の垣根を超えた連携・強化を図って行きたい。



# 都農町家庭教育応援団 「さん・さん」

令和元年度から、都農町内の全ての保護者が安心して子育てができる地域づくりを目指して、都農町家庭教育サポート推進事業が始まりました。その具体的な活動の中心となるのが「都農町家庭教育応援団『さん・さん』」です。都農は「TSUNO」と英語表記され、真ん中に「SUN(さん)」(太陽)があります。「さん・さん」という名前は、この太陽のように明るく笑顔であふれる家庭や町になって欲しいという願いを込めて付けられました。都農町教育委員会がサポートしながら家庭教育支援員を中心に、地域のボランティアが保護者を対象とした相談対応や保護者学習会、親子交流イベント等を行っています。

- ◇活動開始年月：2019年9月
- ◇活動拠点：宮崎県児湯郡都農町
- ◇活動範囲：町内全域（人口約10000人）
- ◇チームのメンバー：9人



（家庭教育支援員1名、保護司1人、人権擁護委員1人、子育て経験者1人、応援企業関係者1名、町内PTA関係者4名）

- ◇連携機関等：幼・保園、小学校、中学校、教育委員会、健康管理センター

「さん・さん」は、サポートチーム会議を開いて研修や企画をしているぴよん!!

研修では、傾聴の大切さや児童虐待等の社会問題についての情報共有、アイスブレイキングの体験などを行っています。

都農町マスコットキャラクター  
「つのぴよん」



## 活動の対象

- 妊婦とその家族
- 乳幼児期     小学生     中学生     高校生以上
- その他    ( 地域住民 地域企業・団体等 )    の子供を持つ保護者・家庭

## 活動場所

- 幼稚園     保育所     小学校     中学校     高等学校
- 社会教育施設     福祉施設     保健センター等     企業
- 家庭（訪問等）     オンライン     その他（ 都農町役場 ）



## 保護者の学びの場

家庭教育学級や就学時健康診断において宮崎県が作成した「みやざき家庭教育サポート・プログラム」を活用した保護者学習会を実施しています。初めて会った保護者でも気軽に話せて、保護者仲間が増えています。



## アウトリーチ型支援

多くの保護者に家庭教育支援の輪を広げるために、学校や健康管理センターにおいて家庭教育に関するポスターやチラシを配付して啓発を行っています。

### つの家庭教育3×3か条



【1歳6ヶ月健診】



【小学校参観日】

## 保護者がつながる場

学校の参観日等に、保護者同士や地域の方々をつなげる「さん・さんサロン」を開催しています。お茶を飲みながら、保護者同士や民生児童委員の方と会話が弾みます。



## 親子交流イベント

親子参加型の自然体験や創作活動等をとおして、親子の絆や家族間の交流を深め、地域とのつながりが増えるようなイベントを企画しています。地域の方々の協力を得ながら、活動を進めています。まさに「地域は家庭の応援団」!!



【門松作り】



【料理教室】



【フォトウォーク】

## さん・さん農園

親子交流の場として、さん・さん農園を設置しアトランティックジャンボカボチャやサツマイモを栽培しました。収穫した作物を食べたり、畑用の看板を作ったりしました。ジャンボカボチャの重さ当てクイズをしたり、カボチャに好きな絵や願い事を書いたりして楽しみました。



- 【参加者の感想】
- 子どもと一緒に、ゆっくりと時間を過ごすことができました。
  - 親子で家では体験できないことができたのでとても楽しい時間を過ごせました。
  - コロナ禍で出かけることも少なく、町内で親子で参加できる場があってありがたいです。
  - 楽しく収穫できて、そのお芋をその場で食べられたことが嬉しかったです。



2次元バーコードを読み取るとHPで活動の様子を確認することができるぴよん!!



## 成果と今後の展望

- 家庭教育支援員や地域ボランティアによるイベント等の企画・運営により、地域住民の主体的な家庭教育支援の活動の仕組ができました。
- 学校、家庭、地域が一体となり、保護者が学んだり、つながったりする場ができたことで、悩みを相談したり、関係機関が把握したりして早期に対応することができました。
- ◇ 今後は、これまでの活動を継続させていくとともに、多様な地域ボランティアの確保や各団体をつなぐことで、親子交流イベント等を充実させていきます。そして、1人でも多くの保護者に支援を届けていきます。



# 名護市家庭教育支援チーム

## つながるWaRaBarプロジェクト



### 活動の目的・理念

名護市家庭教育支援チームは、すべての親が家庭教育に関する学習等ができるよう、地域における支援体制を整え、地域人材の育成や活用、学校や関係機関との連携による持続可能な仕組みをつくり、地域全体で家庭教育支援を推進することを目的に活動しています。



### チーム・活動の体制

- ◇活動拠点：沖縄県名護市  
人口64,021人(令和3年10月31日現在)
- ◇活動開始年月：2014年4月
- ◇活動範囲：市内全域、21校区
- ◇チームのメンバー：30人  
(保護者、スクールカウンセラー、元教職員等)
- ◇連携機関等：市内小中学校



### 活動の対象

- 乳幼児期
- 小学生
- 中学生
- 市内在住の子どもに関わる方



### 活動場所

- 小学校
- 中学校
- 社会教育施設
- オンライン



※コロナ禍ではICTを活用し、定例ミーティングや各種講座、親子参加型イベント等をオンラインで実施し継続的に活動している。





## 特色ある取り組み



地域家庭教育支援チーム配置

「フリーコミュニティスペース」実施

※家庭・地域・学校の交流の場



市内全小学校区（13地域）へ配置可能な支援体制づくりを行う。



フリーコミュニティ・スペース



スキルアップ研修会  
(SNS関係・家庭の性教育)



授業参観日10分ミニ講話  
&ゆんたくスペース

現在1チーム配置されている屋我地ひるぎ学園では、チームメンバーが主体となり、学校と連携しながら保護者同士の交流の場づくりや学びの場の提供等を行っている。

## 主な活動内容

### 学びの場・交流の場づくり

- 授業参観日の出前講座（10分ミニ講話&ゆんたくスペース）や家庭教育に関する各種講演会、ものづくり体験講座等の実施。
- チーム研修会を定期開催してメンバー間交流や理念の共有を図り、SDGsを視野に入れた学びも深めている。



ミニ講話&フラワーアレンジメント

### 地域における支援体制づくり

- 子育てスキルアップ兼人材育成講座(初級・中級・上級)を実施し、チームメンバーは全員初級講座を受講している。  
(内容：セルフコントロール、やる気の秘密等)



### 親子参加型講座

- 親子ふれあいイベント（ヨガ・カラーセラピー・わらべうたマッサージ）、マングローブ生き物観察会を実施した。



マングローブ生き物観察会

## 令和3年度・各講座やイベント参加者の声

- 深く心が癒やされました。自分へのご褒美の貴重な時間でした。（フラワーアレンジメント講座）
- 自分も家族もみんな褒めて、脳内からハッピーにしていけるように意識したい。（10分ミニ講話）
- 親子共々楽しませて頂きました。自然の豊かさに感謝！！（親子参加型マングローブ生き物観察会）
- 自分の子育てこれでいいのか不安でしたが、講座を聞いて心が軽くなりました。（人材育成講座）

## 成果と今後の展望

学びの場・交流の機会の提供を重ねることで、つながるWaRaBarプロジェクトの周知及びチームメンバーのスキルアップに繋がった。家庭教育支援チームのメンバーが主体となり、講座等の発案・企画・運営を行った。また、コロナ禍でICT活用を併用することで、継続的に活動を行うことが出来た。

今後もチームメンバーが主体的に家庭教育支援事業を推進していけるよう、分かりやすい仕組みづくりを行い、理念の共有を図る。また、関係機関と連携し対象を広く人材発掘、育成を行い、学校・家庭・地域と連携してコミュニティ・スクールと一体的に推進していく。

# 文部科学省における家庭教育支援の推進に関する情報

子供たちの  
未来をほぐくむ

## 家庭教育

家庭教育支援について、各地域の取組を含めた様々な情報を文部科学省のポータルサイトに掲載。



子供たちの未来をほぐくむ 家庭教育

家庭はすべての教育の出発点

子供たちにとって「家庭」は守りがある楽しい居場所  
社会へ巣立っていくために欠かせない場所  
親の愛情が子供の力をつくり出す。  
親子が共に学び、育ち合う「家庭教育」を地域全体で応援する。  
そんな「やさしい社会」が、  
子供たちの「未来（あした）」をほぐくんでいきます。

→ 家庭教育ってなんだろう？

ライブラリ → 詳しく見る

「お父さん」「お母さん」を楽しもう！ 学ぼう！ → 詳しく見る

地域で家庭教育を応援しよう！ → 詳しく見る

企業も家庭教育を応援しよう！ → 詳しく見る

新しいつながり合いのかたち → 詳しく見る

児童虐待から子供たちを守るために → 詳しく見る

子ども読書の推進 → 詳しく見る

インターネットで「家庭教育ってなんだろう？」と検索

### 家庭教育支援に関する各種動画等の提供



家庭教育支援チームの活動例 など  
 (「YouTube」文部科学省動画チャンネル)  
 ・メンバーの得意分野を生かした多様な取組  
 ・地域における支援のネットワークづくり  
 ・全戸訪問による相談支援 など

つくろう！ 家庭教育支援チーム  
～地域で力を家庭や子供を支える～

「家庭教育支援チーム」の手引書

身近な地域において保護者への支援を行う「家庭教育支援チーム」の組織化や活動を支援することを目的としたリーフレット。



地域で「家庭教育支援チーム」を立ち上げる際に必要な視点を、事例、コラムなどを交えて整理した手引書（平成30年11月）。



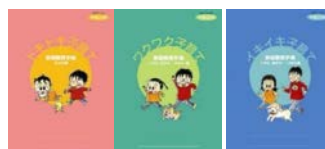
### 訪問型家庭教育支援の関係者のための手引き

地方公共団体で訪問型家庭教育支援を実施する際に、ヒントとなる情報や知見、ノウハウなどを整理。



### 家庭教育手帳

保護者などに対する子育てのヒント集として作成。  
 「乳幼児編」、「小学生(低学年～中学年)編」、「小学生(高学年)～中学生編」の3種類をホームページに掲載。



## 地域の活動で子供たちや保護者に関わるみなさまへ 児童虐待への対応のポイント ～見守り・気づき・つなぐために～

家庭教育支援や地域学校協働活動等の関係者に向けて

地域の活動で子供たちや保護者に関わる  
みなさまへ

### 児童虐待への対応のポイント

～見守り・気づき・つなぐために～



子供たちや保護者と関わる中で「あれ？」「もしかして？」と思ったら、ためらわずに相談・通告してください。

～あなたの1本の電話で救われる子どもがいます～

「児童虐待かも…」と思ったら、すぐにお電話ください。

189

※お住まいの地域の児童相談所にご相談ください。  
 ※通告・相談は匿名で行うことも可能です。  
 ※通告・相談をした人やその内容に関する情報は守られます。  
 ※虐待の被害は誰にでも起こります。

文部科学省

児童虐待への早期対応のために、「児童虐待への対応のポイント～見守り・気づき・つなぐために～」を作成し、文部科学省のホームページに掲載しました。

この資料では、地域において児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応ができるよう、地域における家庭教育支援関係者や、放課後子供教室などの地域学校協働活動関係者等に対して、児童虐待への対応に関して留意すべき事項をまとめています。



### 多くの子供たちや保護者と関わる 活動だからできることがあります

**児童虐待防止の流れ**  
 児童虐待を防止するためには、以下のフローの中で、様々な関係者が適切に対応することが必要になります。

発生予防 → 早期発見・早期対応 → 保護・支援

家庭教育支援や地域学校協働活動などの活動に関わるみなさまは、発生予防、早期発見・早期対応段階での関わりが想定されます。

**日々の活動での気づきが早期発見に**  
 地域における家庭教育支援や地域学校協働活動などの活動は、日常的に多くの保護者や子供たちと関わり合っています。いつもと違う様子や行動など、みなさまの気づきが早期発見につながります。

**活動を通じたつながりや声かけが未然防止に**  
 児童虐待は、地域からの孤立やサポートの薄さ、育児ストレスなどの様々な要因が複雑に絡み合っただけにと考えられています。みなさまの声かけや日頃からのつながりが、保護者の不安を軽減することに役立つ可能性があります。

**地域社会全体で子供たちを育む体制づくり**  
 虐待を防止しようとするだけでは、子育て・家庭教育に打ちのめされることがあるかもしれません。みなさまの活動を通じて、保護者が安心して子育てできる体制づくり。すべての子供たちの成長を地域全体で支えていく体制づくりを進めていくことが必要です。

**関係機関との連携がいざというときにも機能**  
 学校や子育て世代包括支援センターなどの関係機関や、スクールソーシャルワーカーなどの専門家と連携することは、家庭教育支援や地域学校協働活動などの活動をすすめるための必要ですが、いざというときの相談・通告や対応に際する上でも効果的です。

※学校においては、「学校・教育委員会等向け「虐待防止の手引き」」（虐待の「発生・発見」に際して「子どもに知らせず」実施において、虐待防止活動や相談対応などに関する情報は、その子のプライバシーに配慮し）、学校の対応については、あらかじめ、学校と連携を再確認しておくことが重要です。



# 「家庭教育支援チーム」の登録制度

## ○登録制度の趣旨

文部科学省では、すべての保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう、地域において主体的に家庭教育支援の取組を行う「家庭教育支援チーム」の設置を促進するとともに、各地域の取組状況の把握や効果的な事例の収集・情報発信による全国の様々な地域における家庭教育支援の取組の活性化のために、「家庭教育支援チーム」登録制度を実施。（平成22年度～）

## ○登録のメリット

- ①文部科学省ホームページにおいてチームの活動を掲載し、全国に向けて発信
- ②文部科学省から家庭教育支援に関する情報や資料の提供
- ③家庭教育支援チームのロゴマークの使用 など

## ○登録要件

地域の多様な人材を中心に組織し、保護者への家庭教育支援の取組を行う家庭教育支援チームであり、次の（１）から（５）までの要件を満たすことが必要です。

（１）具体的な取組内容として、家庭教育の自主性を尊重しつつ、以下のア～エのいずれか又はこれらを組み合わせた取組を行うものであること。

ア 保護者等への学びの場の提供

保護者等に対する主体的な「学び」と「育ち」に関する学習機会の提供や情報提供、相談対応等

イ 保護者等への地域の居場所づくり

地域資源を活用した親子参加型の体験型プログラムの実施・情報提供や日常的な交流の場の提供等

ウ アウトリーチ型家庭教育支援（※保護者の居場所に出向いて届ける支援）

保護者の居場所（自宅や学校、企業等）に出向いての情報提供や相談対応等

エ その他、取組の目的・内容等が家庭教育支援に資するもの

（２）継続的な取組を行うものであること。


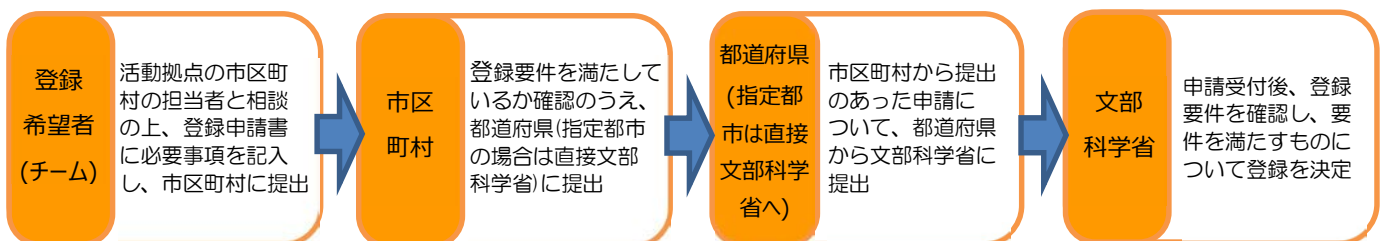
（３）営利を主たる目的とした活動を行うものでないこと。

（４）特定の宗教的色彩の強い活動を行うものでないこと。

（５）その他、家庭教育支援チームとして登録すべきでない特段の事情がないこと。


## ○登録の手続き等

登録を希望するチームは、登録要件を満たしていることを確認し、活動を行う市区町村の家庭教育支援担当に相談のうえ、申し込み。登録期間は、登録日から翌々年度の3月31日まで。（更新可能）



**【家庭教育支援チームのロゴマーク】**  
コンセプト「温かく包む支援の輪」  
地域の人々の支援の輪が、子供や保護者の方を温かく包み込むイメージを体現したロゴマークです。

文部科学省ホームページ  
「家庭教育支援チーム」  
登録制度について





文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN